

職場の教養

6

2026
JUNE

職場の教養

6月号

2026年6月1日発行
(前1回1日発行)
第51巻の7月号との同時発行

編集人 三浦貴史
発行人 和田毅

一般社団法人 倫理研究所
<https://www.rri-jp.or.jp>

本誌は非売品で、倫理研究所の法人会費に毎月無料で贈呈しています。入会のお申し込み・お問い合わせは、倫理法人会事務局へお願いします。

放送局名	放送時間
北海道放送	(土) 5:00 - 5:10
青森放送	(日) 7:00 - 7:10
IBC岩手放送	(日) 12:00 - 12:10
東北放送	(日) 6:20 - 6:30
秋田放送	(日) 7:00 - 7:10
山形放送	(土) 17:00 - 17:10
ラジオ福島	(日) 18:20 - 18:30
新潟放送	(日) 7:15 - 7:25
信越放送	(日) 6:20 - 6:30
文化放送	(土) 5:50 - 6:00
山梨放送	(土) 7:30 - 7:40
静岡放送	(日) 6:15 - 6:25
北日本放送	(日) 6:35 - 6:45
北陸放送	(日) 7:00 - 7:10
福井放送	(日) 6:20 - 6:30
東海ラジオ放送	(日) 6:00 - 6:10
京都放送	(日) 6:30 - 6:40
和歌山放送	(日) 6:50 - 7:00
ラジオ関西	(日) 8:15 - 8:25
山陰放送	(日) 7:50 - 8:00
中国放送	(日) 7:00 - 7:10
山口放送	(金) 17:45 - 17:55
四国放送	(土) 6:50 - 7:00
西日本放送	(日) 7:00 - 7:10
南海放送	(水) 6:45 - 6:55
高知放送	(日) 6:10 - 6:20
RKB毎日放送	(日) 6:35 - 6:45
長崎放送	(日) 6:30 - 6:40
熊本放送	(日) 6:30 - 6:40
大分放送	(土) 18:00 - 18:10
宮崎放送	(日) 18:45 - 18:55
南日本放送	(日) 20:50 - 21:00
ラジオ沖縄	(土) 7:50 - 8:00 [1月-6月]
琉球放送	(土) 9:50 - 10:00 [7月-12月]



「声」と「音」とナレーションで、
10分間、イマジネーションの世界へ

次世代に語り継ぎたい
日本の「音」を伝える「録音風物誌」は、
放送開始から70年を超えるラジオ番組です。
全国の放送局がその土地ならではの
文化・風俗・暮らし・人間模様を
“音”とともに紹介します。

倫理研究所提供ラジオ番組 **録音風物誌**
rokuon fubutushi

所属

氏名

おかげさまで50周年



一般社団法人 倫理研究所

今日の心がけ◆世の中の変化からニーズを読み取りましょう

商売においては、過去の成功に固執し、それを模倣するだけでは不十分です。変化の激しい時代、同じ手法を繰り返しても通用し続けるとは限りません。一度の成功体験に必要以上にこだわり、模倣に終始すれば、消費者の関心はすぐに離れてしまいます。これは「柳の下に二匹目のどじょうはいない」ということわざが示す通り、安易な模倣では持続的な成功が難しいことを意味します。ぬめりがあつて捕まえにくいどじょうのように、消費者のニーズや価値観は常に変化します。現代の消費者の心をつかむには、成功事例を表面的に真似るのではなく、深く分析し、改善を重ねたうえで、獨創性を追求することが不可欠です。さらに企業や組織においては、市場の変化を敏感に捉え、顧客が本当に求めている潜在的なニーズを見抜く洞察力が求められます。過去の成功が未来を保証するわけではありません。成功事例を参考にしつつも、「柳の下にどじょう」を狙わない獨白性の高い商品やサービスを生み出すことが、企業の持続的な発展には不可欠だといえるでしょう。

日本再発見! -徳山(西日本編)-

ポンポン山 (大阪府高槻市・京都府京都市)

高槻市街地の北方約10km、大阪府と京都府の境に位置する標高約678mの山。正式には「加茂勢(かもせ)山」で、愛称の由来は、山頂近くで足踏みをするポンポンと音がすることからだとか。縦走コースの起点は高槻側、日本で最初

「衣更え」と聞くと、少し面倒な作業を思い浮かべる人も多いでしょう。Aさんもその一人で、季節に合わせて服を入れ替えるのが億劫で、結婚する前は衣更えをしたことがありませんでした。

クローゼットの中には夏物と冬物が混在し、寒いと思えば長袖を探し、暑いと思えば半袖を探す。そんな生活が、Aさんにとってはあたりまえだったのです。その習慣が変わったのは、結婚してからのことでした。六月が近づくと、妻が冬物を丁寧に着込み、収納ケースへしまっていく姿を目にしたのです。

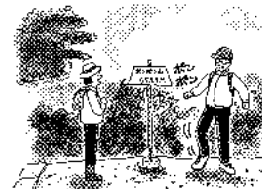
十月になると夏物を片付け、クローゼットには秋冬物が並びます。その様子は、季節ごとに節目を設けているかのようで、Aさんの日には新鮮に映りました。

「これは良いことだ」と感じたAさん。それ以来、家では六月と十月に必ず衣更えを行なうようになり、いつしか毎年の恒例となつていったのです。

衣更えは、単に衣類を入れ替える作業ではありません。季節の移り変わりを実感させてくれる、家庭の中に息づく大切な文化と言えるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆衣更えで季節を感じましょう

に昆沙門天を祀ったとされる神峯山寺(かぶさんじ)だ。ここから登頂し、善峯寺に下る約12kmのハイキングコースが一般的だ。山頂からは、晴れた日には大坂湾、生駒山、愛宕山などの眺望が楽しめる。



今日の心がけ◆環境を前向きに捉えましょう

雨に映えて美しく咲く紫陽花は、土壌の性質によって花の色を変えることで知られています。酸性の土壌では青系統になり、アルカリ性の土壌では赤系統となり、生育する場所ごとに、異なる表情を見せながら咲いています。

紫陽花は、自ら咲く場所を選んでいくわけではありません。雨や風にさらされながらも、与えられた土壌や気候の中で、その場に心づいた色合いをまとい、花を咲かせているのです。

私たちの職場もまた、必ずしも望んだ条件が整っているとは限らないでしょう。そのような中で、環境を嘆き、条件が整うのを待つだけでは、物事は前に進みません。厳しい現実を直視したときこそ、白らの姿勢が問われるのです。

まずは現状を受け止め、与えられた状況の中で、心持ちや働き方、周囲との関わり方を見つめ直すことが大切です。

置かれた状況に抗うのではなく、その中で前向きに自分らしさを発揮していく。そうした姿勢が人生や仕事に、より豊かな彩りを添えてくれるのです。

日本再発見! -徳山(西日本編)-

摩耶山
(兵庫県神戸市)

六甲山系では六甲山最高峰に次ぐ標高約702m。山頂付近にある展望スポット・掬星台(きくせいだい)からの夜景は、北海道の函館山、長崎県の稲佐山の夜景と並んで「日本三大夜景」といわれ、眼下に神戸の街の灯、大阪湾、

今日の心がけ◆食事の時間を大切にしましょう

今月は、平成十七年六月に食育基本法が成立したことを受け、全国各地で「食育月間」として、健全な食生活について学ぶ取り組みが行なわれています。

近年、日本では、一人で食事をする「孤食」や、家族が別々の献立を食べる「個食」が増えています。生活様式の多様化や忙しさの中で、食事の時間が分かれてしまう家庭も少なくありません。

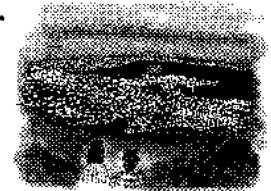
「孤食」は会話が減り、社会性や協調性が育ちにくくなる恐れがあり、「個食」は栄養の偏りを招きやすいといわれています。

食事は家族や同僚、友人と過ごす大切な交流の時間でもあります。食卓を囲むことで会話が生まれ、絆が深まり、食への感謝の心も育まれるでしょう。

食卓を共にすることは、つながりを深めます。食という命の恵みに感謝し、人と食事を楽しむ時間を大切にすることが、心身の充実にもつながります。

食育月間を機に、日々の食事のあり方を改めて見つめ直し、家族や同僚、友人などと食事を共にする時間を意識的につくっていききたいものです。

そして遠くには大阪や淡路島の光まで見渡せる大パノラマが広がる。麓からケーブルカーとロープウェイを乗り継いで、展望台まで15分ほど。展望台から山頂へは、ここから遊歩道を歩いて10分ほどだ。



両生類を代表する動物であるカエルは、南極大陸を除くほぼすべての地域に分布しており、地球上では約七千種以上が確認されています。そのうち日本では、およそ五十種類が各地に生息しています。

カエルは、様々な気候や環境に順応する能力を持つ生き物です。成長の過程では、幼生期にはエラで呼吸し、成体になると肺や皮膚を使って呼吸するようになります。体色や模様を周囲に溶け込ませるなど、環境に応じた工夫も見られます。一方、私たちヒトは、社会の中で生きるための適応力を備えています。言語を通じて他者と関係を築き、道具や技術を用いて生活をより良くしてきました。環境や相手に応じて振る舞いを変える力は、社会で働くうえで欠かせないものです。しかし、苦手な相手や慣れない環境では、合わせることに消極的になつてしまう場面もあるでしょう。

合わせるべきか、あえて合わせないか。仕事など様々な場面で、その選択が白他の成長や物事の前進につながるかを考え、判断していききたいものです。

今日の心がけ◆柔軟な姿勢を大切にしましょう

身近な物の大切さは、失ったときに初めて意識されることが少なくありません。S氏も、スマートフォンを紛失した経験を通じて、その重要性を認識しました。

S氏は、一カ月の間に二度スマートフォンを紛失しました。一度目は海外出張中で、周囲からは「日本と状況が異なり、発見は難しいだろう」と言われました。ところが、同行した先輩社員の尽力により無事に見つかりました。

しかし翌週、仕事中にスマートフォンが見当たらないことに気づきました。社内であったため当初は楽観視していましたが、なかなか見つかりませんでした。最終的に見つかったのは別の部署でした。S氏はその部署へ立ち寄っていましたが、「その後になくした」との思い込みから、確認を後回しにしていたのです。S氏は、二度のスマートフォンの紛失経験により、思い込みが判断や行動の幅を狭めること、また周囲の協力のありがたさを実感しました。

現在では、スマートフォンの手入れをこまめに行ない、移動時には持ち物を確認する習慣を身につけ、日常的に道具を大切に扱う意識を徹底させています。

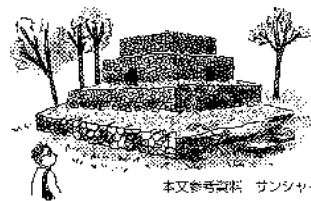
今日の心がけ◆有るものを当然と思わず感謝しましょう

日本再発見! 熊山(西田小編)

くまやま
熊山
(岡山県赤磐市)

まるでピラミッドのように、三段に積まれた石積みの遺跡が山頂で異彩を放つ。標高約508mの熊山に33カ所点在する石積み遺構のなかでも最大のものだ。造立年代は奈良時代が有力だが、目的は不明だ。山頂駐車場を起点にすれば、上述

の遺跡のほか、熊山神社や猿田彦神社など数々の社や、樹齢700～1000年の天然杉など、見所の数々を2時間ほどで巡ることができる。展望台は瀬戸内海側に開けており、小豆島や屋島まで眺望できる。



今日は、父の日です。一九〇〇年代のアメリカに起源を持ち、日本では一九六〇年代頃から、父親に感謝の気持ち伝える日として定着しました。現在では、世界各国で父の日が設けられ、家族の在り方を見つめ直す機会となつていきます。記念日を一つの契機として、父親への想いを改めて振り返り、現在の自身の立ち位置を見つめ直すことは、仕事を進める上でも有意義であるといえます。

例えば、父親から直接、技術や知識を教えられた経験を持つ人もいれば、生き方や価値観が、自身の考え方や行動に影響を与えていると感じる人もいるはずで、さらには、容姿や能力が受け継がれていると実感する場面もあるでしょう。

そうした明確な実感に至らないとしても、今この瞬間を生きているという事実から、生命を与えられたことに対する感謝の念を持つことは当然でしょう。

かつては理解し難いと感じていた父親の言動も、自身が父親の立場に近づくにつれ、共感できるようになることがあるかもしれません。父の日というこの日に、父親への感謝を深めてみてはいかががでしょうか。

今日の心がけ◆父との関わりを振り返りましょう

職場でのコミュニケーションに欠かせないのが「聴く力」です。

営業担当のAさんは成果を急ぐあまり、自分の説明を優先し、相手の話を途中で遮ってしまう癖がありました。その結果、社内ではすれ違いが増え、営業先でも話は進むものの信頼を得られず、成果につながらない状況が続いていました。

ある時、上司から「相手の話を最後まで聴いているか」と問われ、Aさんは初めて自分の姿勢を見直しました。相手の言葉だけでなく表情や態度に意識を向けると、言葉にされていない不安や期待が見えてくることに気づきました。

そこでAさんは、相手の受け止め方を確かめる問いを投げかけ、沈黙を恐れず相手の反応を待つようにしたのです。さらに、うなずきや相槌を交しながら、相手の言葉を丁寧に反すことで、相手は安心して本音を語るようになりました。

その結果、職場では相談される機会が増え、営業先でも信頼関係が深まり、成果が着実に上がっていきましました。Aさんの経験が示すように、伝える力と同時に聴く力を磨くことが、可能性を広げる第一歩となるのです。

今日の心がけ◆言葉の奥にある思いを聴きましよう

あり、ガラスケースの中に御朱印や登頂証明書が入っている。小ささゆえの遭難者・行方不明者ゼロをうたい、登山安全や交通安全を祈願する「山開き」が、標高にちなんで6月1日に行なわれている。



標高なんと6.1m、周囲約50m! 自然の山としては日本一低い。JR牟岐線地蔵橋駅から徒歩15分ほどの、田畑に囲まれた場所に建つ扁居が目印だ。「登山口」から登り始めて、約1分で山頂に到着。頂上には弁財天を祀る観島神社の社が

べんてんやま
弁天山
(徳島県徳島市)

日本再発見! (徳島(西日本編))

今日の心がけ◆相手の快適さに配慮しましょう

どんな機械やシステムも万全ではありません。お互いが心を配り合い、皆が快適だと思えるような空間をつくり出したいものです。

こちらからお客様の会社を訪問する際も気をつけたいものです。訪問先の室内環境が分からない場合、一枚脱いでも失礼のない服装を心がけたり、羽織るものを用意したりすることで、安心して向かうことができます。

大きな事務所や会場になると、直接風が当たって寒さを感じやすい場所があります。反対に、窓際のため、温度が下がりにくい場所もあります。お客様を事務所に迎える際には、案内をする場所に心を配りたいものです。また、肌寒さを感じているような振る舞いをしていないか気を配り、状況によってはブランケットなどを用意することも必要でしょう。

冷房が欠かせない時節になりました。空調管理システムは室内を快適に過ごすためのものですが、一律の温度にせざるを得ず、個人差に対応しきれない難点もあります。その難点を補うものの一つが心配りでしょう。

今日の心がけ◆真摯に業務を進めましょう

ある飲食店の店舗設計を担当している建築士のTさんは、同時に、店舗内のインテリアをコーディネートする業務も任されることとなりました。

「店舗に置く椅子やテーブルなどの什器は落ち着いた色にしてほしい」という要望を、お客様との打ち合わせでTさんは聞いていました。しかし、家具を製作する業者への指示を誤り、予定よりも明るい色の製品が出来てしまったのです。

Tさんはまず、出来上がった製品をお客様に見てもらった上で、自らの過失を詫び、すぐに要望されていた色に作り直す旨を伝えました。

すると、「案外こちらの色の方が店舗の雰囲気合っているから、このままでいいですよ」とお客様に言われ、作り直すことなく納品が終了したのでした。

怪我の功名ともいえる出来事でしたが、Tさんが何かしら理由をつけて言い逃れをしていた場合には、同じような結果にはならなかった可能性があります。

業務を進めていく上で、ミスや失敗は誰しも起き得ることです。そのような時こそ、お客様に向き合い、誠実に対応していききたいものです。

った希少種が生息しており、運が良ければ道中では出会うかもしれない。山頂までは約1時間半。ぬかるみやずい足場もあるためしっかりした装備で臨みたい。山頂からは、国の名勝に指定されている川平湾を見渡すことができる。



標高約525mで、沖縄県最高峰として知られる。登山口は新石垣空港から車で約20分。そこから亜熱帯植物に覆われたジャングルの中を進む登山道が続く。山には天然記念物のアサヒナキマダラセセリ（蝶）やセマルハコガメ（亀）とい